

事業所名

ウィズ・ユー葛飾区役所前・柴又駅前

支援プログラム

作成日

6 年

4 月

1 日

| | | | | | | | |
|-----------|---|--|---------|---|----|--|--|
| 法人（事業所）理念 | Change, Challenge, Grow-up and Live together（変化を恐れず、挑戦を怠らず、皆が成長する企業となる） | | | | | | |
| 支援方針 | 児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。 | | | | | | |
| 営業時間 | 10 時 00 分から | 17 時 00 分まで | 送迎実施の有無 | <input checked="" type="radio"/> あり | なし | | |
| 支 援 内 容 | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの児童に適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。 また、事業所の中で、さまざまな遊びを通して学習できるよう環境を整え、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。 | | | | | |
| | 運動・感覚 | 少人数・グループ・大人数など、友だちと自然（円滑）に関わりがもてるように場の設定に配慮する。 バランスボール等を活用し、身体能力の基盤を養う運動（遊び）にチャレンジする。 本人の興味ある＆ルールのあるスポーツ（遊び）を上手に取り入れ、参加意欲を高める。（卓球、ボウリング、風船バレー等） | | | | | |
| | 認知・行動 | 時間を柔軟に設定し、実態や心情に合わせながら学習などを進めていく。また、見通しを持って学習に取組めるようにタイマーや視覚的教材を積極的に活用する。 つまずいた時に「お助けカード」等を準備し、自らアクションを起こせるようにする。 ※「分からぬ」とは「がんばってチャレンジしている証拠」であることを、適宜褒めながら意欲を高めていく。 | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 順位や点数がつく遊びを通して「自分の気持ちがどんな状態なのか」常に振り返りができる環境と視覚教材を準備する（クールダウン、顔の表情カード、心のものさし表など） SSTを取り入れながら、怒りの対処法や情緒の安定を図る。 | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | ソーシャルスキルトレーニングやアサーショントレーニングを通して、対人場面での上手な意思疎通のはかり方や上手に自分の主張や意見を伝えられるようにする。 | | | | | |
| 家族支援 | 子育てや障害等に関する情報提供 家族の子育てに関する困りごとにに対する相談援助 子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 | | 移行支援 | 進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助や移行に向けての様々な準備の支援 | | | |
| 地域支援・地域連携 | 地域の中で社会交流の促進、創意的活動などを提供し、社会的孤立を防いでいくことを目的とする。 | | 職員の質の向上 | 職員が個々の能力と求められている役割を最大限発揮して、質の高い支援を行うための環境を整えます。 | | | |
| 主な行事等 | 4月・はじめましての会 5月・こいのぼり制作 6月・あじさい制作 7月・七夕短冊作り 8月・お出かけ（動物園、水族館など） 9月・お月見 10月・ハロウィン仮装 11月・室内運動会 12月・クリスマス会 1月・かるた、福笑い 2月・豆まき 通年行事 オリエンテーション お誕生会 遠足 調理実習 3月・ひな祭り | | | | | | |